

きのこ生産の省力化・省人化に向けた 自動等級判別装置の開発

背景

きのこ生産現場における人手不足を緩和するために、
選別作業の省力化・省人化に対するニーズが高まっている。



シイタケ生産現場における人手による
選別作業の現状

成果

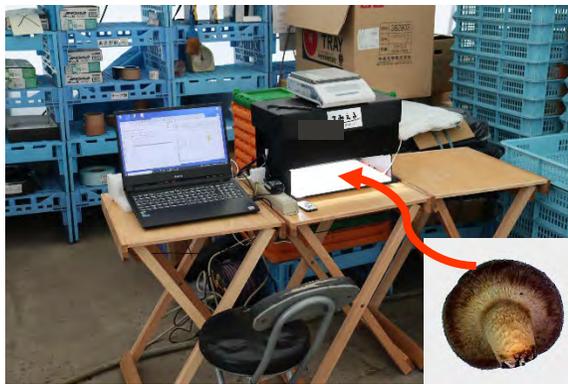
1 等級判別用AIの作成

AIによって自動で等級判別



各等級の画像を教師データとして学習し、
AIを作成

2 手置き式等級判別装置の試作



「手置き方式」でシイタケの等級判別
を行う装置を試作

3 搬送方式への改良



「搬送方式」で等級判別
(A、B、Cの3段階)が可能

期待される効果

生産施設における自動等級判別装置の開発を進めることで、選別作業の省力化・省人化に貢献する。

(協力機関：森産業(株) 東日本支社、ワークハウスひまわり、はるにれの里ふれあいきのこ村、(株)テルベ)